



第81期 第2四半期株主報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第81期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成25年12月

取締役社長 *宮地 敬一郎*
Keishiro Miyaji

中期経営計画「SAP15」を着実に

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください。

A 当初計画を上回る増収増益を達成いたしました。

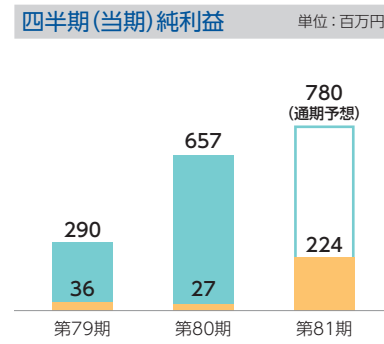
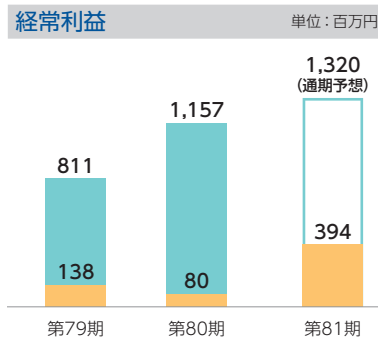
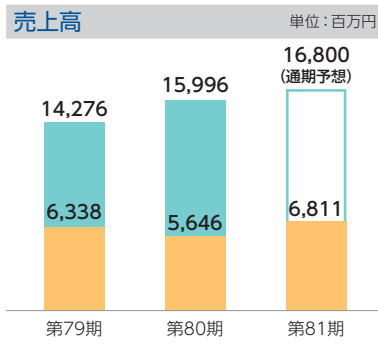
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策への期待感から円安、株高基調で推移し景況感も改善され、緩やかながら景気回復の動きが見られました。しかしながら世界経済の下振れリスクなどの懸念材料を抱えており、先行き不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、2013年度から2015年度までの中期経営計画「SAP15 (Seibu Action Plan for 2015)」を策定し、当社グループは「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって、安定成長を実現すべく、全社を挙げて努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は83億6千1百万円（前年同期比 1.1%増）と微増となり、売上

業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

■ 第2四半期 ■ 通期



に展開し、商品力の向上／販売力の強化を図ってまいります。

高は輸出の増加と大口物件の納入により68億1千1百万円(前年同期比 20.6%増)となりました。また、損益においては、経常利益は3億9千4百万円(前年同期比 390.7%増)、四半期純利益は2億2千4百万円(前年同期比 718.6%増)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A 主要テーマは「商品力の向上」と「販売力の強化」。

中期経営計画「SAP15」の初年度であり、どのような環境下にありますとも、「商品力の向上」、「販売力の強化」によって、受注・売上を拡大し市場競争を勝ち抜き所存であります。

更にはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高168億

円(前期比 5.0%増)、経常利益13億2千万円(前期比 14.0%増)、当期純利益7億8千万円(前期比 18.6%増)を計画しております。

Q 配当政策など、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

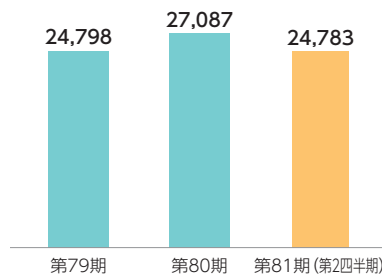
A 前年同期よりも1.25円の増配を実施させていただきました。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

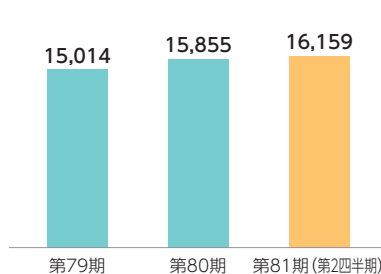
当第2四半期末の配当金は、前年同期よりも1.25円増配となる1株当たり5.00円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

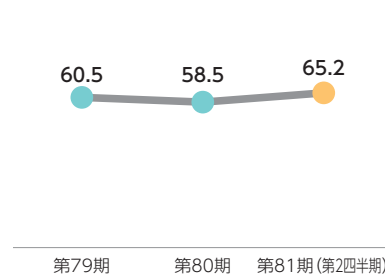
総資産 単位：百万円



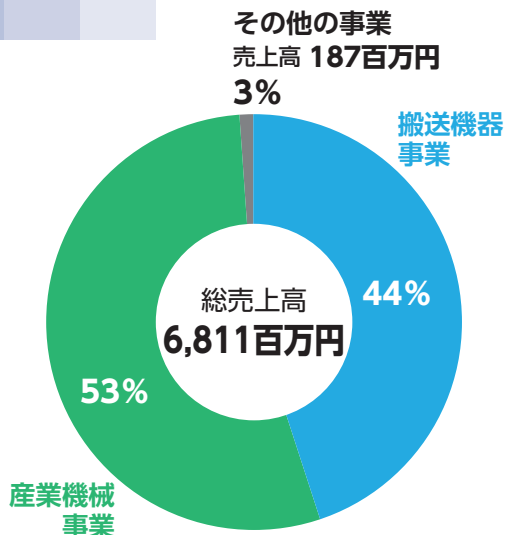
純資産 単位：百万円



自己資本比率 単位：%



主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

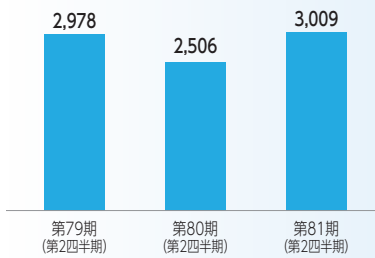


搬送機械事業

売上高 **3,009**百万円

(前年同期比 20.0%増)

売上高 単位：百万円



搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

しかしながら、受注高は大手機械メーカーからの大口物件の成約が前期にあったこともあり、34億1千4百万円(前年同期比 22.0%減)、売上高は前期受注の大口物件が上期に納期をむかえたこともあり、30億9百万円(前年同期比 20.0%増)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

立体自動倉庫



ケースピッキングクレーン



搬送・ハンドリングシステム



TOPICS

株式会社安川電機殿 中国ロボット工場にFMS納入

(株)安川電機殿(安川(中国)机器人有限公司)が中国の常州に建設したロボット工場に、当社のFMS(DIOシステム)が3台納入されました。

中国では、人件費の高騰で製造現場の作業を人手からロボットへ置き換える動きが加速しており、国際ロボット連盟によると、2011年の中国での産業用ロボット出荷台数は前年比5割増と高い伸び率を示しています。景気減速下でも自動化ニーズは強く、今後中国においては、ますます省力化・自動化が進むことが予測されます。

今回の納入実績を契機に、中国市場での拡販を展開してまいります。



産業機械事業

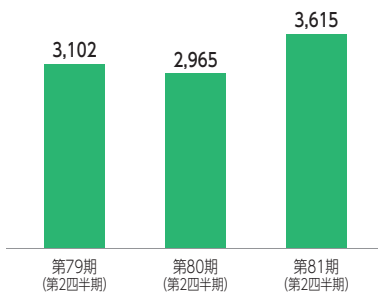
売上高 **3,615**百万円

(前年同期比 21.9%増)

産業機械事業の産機部門では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。

また、精密機械部門では、既存顧客の更新需要や海外の新規商社の開拓に注力してまいりました。その結果、ゲート市場への拡販や円安効果による輸出の増加もあり、受注高は47億7千4百万円(前年同期比 28.5%増)、売上高は36億1千5百万円(前年同期比 21.9%増)となりました。

売上高 単位：百万円



主要商品

産機部門

- パルプアクチュエータ
- ゲート駆動装置

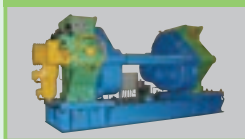
精密機械部門

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 高精度小形NC旋盤
- 高精度自由形状研削加工機
- 正面旋盤

バルプアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置 (大型60t)



ワイヤ放電加工機 (油仕様)



高精度小形NC旋盤



TOPICS

産機部門

南京西部RCS社の技術支援およびVMMの開発

当社の技術提携先である南京西部RCS社で生産・販売しているバルプアクチュエータには、電子式インテリジェント型(コンピュータ搭載)と機械式があります。

今回、外観(デザイン)や重量・価格の面で中国市場のニーズに対応するため、機械式のバルプアクチュエータ、「Semflex®-VMM (VMのMechanical式)」を新たに開発いたしました。

この新商品の開発は当社で行い、また、南京西部RCS社にて量産体制を確立するまで支援を行いました。現在では既に量産を開始し、受注も順調で多数の引き合いもいただいております。



TOPICS

精密機械部門

ドイツ EMOショー2013に出展

9月16日から21日まで、ドイツのハノーバでEMOショー2013が開催されました。EMOショーは2年に1度開催されており、約2,100社が出展し、入場者は14万5千人という世界最大の工作機械展示会です。



当社は、代理店であるElo-Erosion社と共に2つの新商品「M50AG」と「M25LP」を出展いたしました。

「M50AG」はワイヤ放電加工機のテーブルに新たに軸を追加して、PCD工具等を加工できる商品です。回転軸にワークを取り付け、ドライラン展示したところ、多くの方に興味を持っていただきました。

もう1つの新商品は油加工機「M25LP」です。洗練されたデザインが大変好評で、精度面についても超精密領域での加工に関する多くの質問をいただくなど、大きな反響をいただきました。

連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第81期第2四半期 平成25年9月30日	第80期 平成25年3月31日
資産の部		
流動資産	12,543	14,949
固定資産	12,240	12,138
有形固定資産	8,935	8,988
無形固定資産	14	16
投資その他の資産	3,290	3,133
資産合計	24,783	27,087
負債の部		
流動負債	5,212	7,810
固定負債	3,411	3,421
負債合計	8,624	11,232
純資産の部		
株主資本	12,115	11,970
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	6,844	6,699
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	4,044	3,885
純資産合計	16,159	15,855
負債純資産合計	24,783	27,087

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第81期第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	第80期第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	6,811	5,646
売上原価	4,993	4,234
売上総利益	1,817	1,411
販売費及び一般管理費	1,446	1,350
営業利益	370	61
営業外収益	31	28
営業外費用	8	9
経常利益	394	80
特別利益	8	1
特別損失	7	50
税金等調整前四半期純利益	395	31
法人税、住民税及び事業税	93	15
法人税等還付税額	△ 35	—
法人税等調整額	112	△ 11
少数株主損益調整前四半期純利益	224	27
四半期純利益	224	27

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第81期第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	第80期第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	493	345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 373	△ 35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 65
現金及び現金同等物の増減額	33	244
現金及び現金同等物の期首残高	5,368	5,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,401	5,557

平成25年9月30日現在

■ 会社の概況

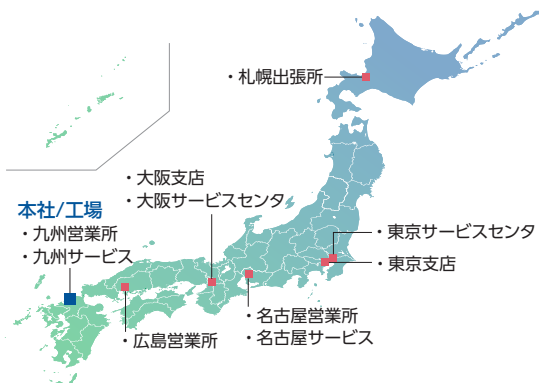
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	403名(連結448名)

■ 役員

取締役会長(代表取締役)	吉住 一成
取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	木村 馥
取締役	木谷 泰博
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
常勤監査役	大串 秀文
監査役	小西 正純
監査役	吉田 一昭

(注) 監査役小西正純、吉田一昭の両氏は社外監査役であります。

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,393名

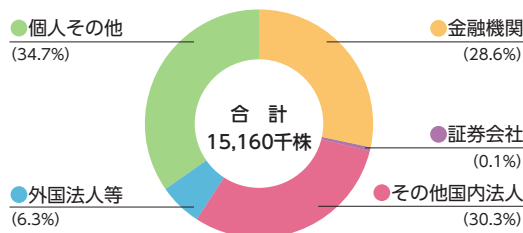
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,400	9.2
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT	931	6.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	399	2.6
村上 博	215	1.4

(注) 1. 持株比率は自己株式(9,665株)を控除して計算しております。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から平成25年11月7日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成25年10月30日現在同社が2,361,500株(保有割合15.5%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
お問合せ先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、 プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記のお問合せ先までご連絡ください。
	未払配当金のお支払については、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。